

＜はじめに 会長挨拶＞



校友会設立後、皆様からの会費により、学生支援事業では緊急支援奨学、国際交流奨励、海外派遣奨励、課外活動等の支援として、これまでに2千4百万円を超える額を学生に支援することができました。

また、校友間交流支援事業として、ホームカミングデー等も開催してまいりました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

これからも、佐大生が活き活きとして活躍できるよう支え、支援していくことが佐賀大学校友会の使命であり、ひいては佐賀地域の振興に資するものと考えています。

今後、佐賀大学校友会は、卒業生、同窓生、教職員、在学生の保護者の皆様をはじめ、佐賀大学を取り巻く方々や企業・団体の皆様を含めた校友の組織づくりに取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましては、引き続き佐賀大学校友会事業にご理解をいただくとともに、格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

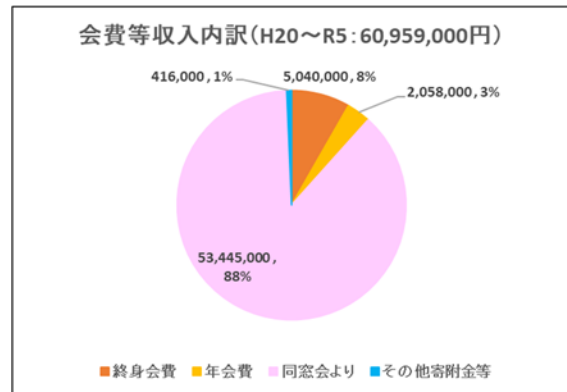
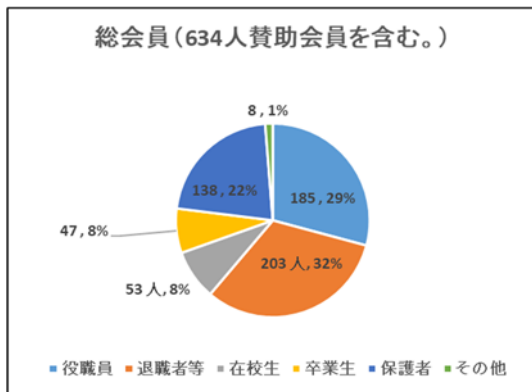
佐賀大学校友会
会長 児玉 浩明

＜会員及び会費等の状況＞

令和5年度末における累計会員数は、終身会員277名、年会費会員356名、賛助会員1名、合計634名です。

また、同窓会様を校友会正会員と規定（佐賀大学校友会会則第6条第2項）して、毎年度、学部新入生で同窓会への入会者一人当たり2,500円を校友会会費として同窓会様からいただいています。

これまでの会費等収入の総額は、60,959千円であり、その88%の53,445千円を同窓会様からいただいています。

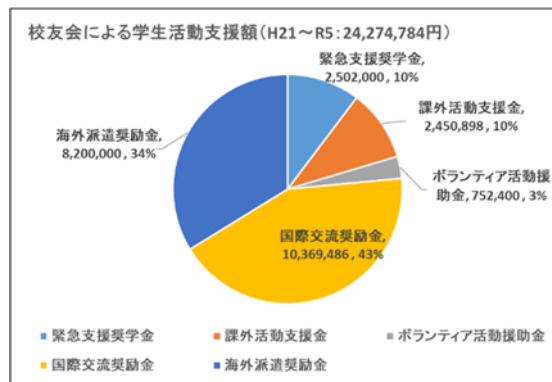
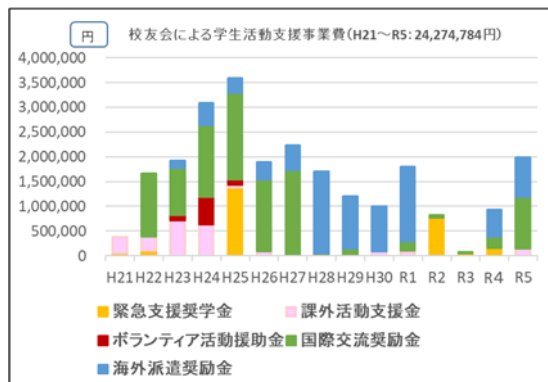


＜支援事業の実施状況＞

これまでの会費等収入により実施した校友会の事業は、大きく学生活動支援事業と校友間交流支援事業になり、これまでの支援総額は、32,147,001円です。

そのうち学生活動支援事業（支援総額24,274,784円）の内訳は、緊急支援奨学金（支援額2,502,000円）、課外活動支援金（支援額2,450,898円）、ボランティア活動援助金（支援額752,400円）、国際交流奨励金（支援額10,369,486円）、海外派遣奨励金（支援額8,200,000円）です。

また、校友間交流支援事業（支援総額7,872,217 円）の内訳は、ホームカミングデーへの支援（支援額3,615,753 円）と海外版ホームカミングデーへの支援（支援額4,256,646 円）です。なお、この海外版ホームカミングデーの実施を契機に、中国、ベトナム、インドネシア、マレーシア、バングラデシュ、タイに本学の海外同窓会が設立されました。



- ・課外活動等支援金 …学生の優秀な部活動等について支援
- ・緊急支援奨学金 …家計急変のため、修学継続が困難な学生のための支援
(平成25年度女子寮火災事故に伴う支援46名1,380,000円を含む)
- ・ボランティア活動援助金 …学生のボランティア活動のための支援
- ・国際交流奨励金 …学生の国際的な活動のための支援
- ・海外派遣奨励金 …学生の海外留学のための支援

令和5年度学生活動支援事業報告

- ・課外活動等支援金 3件 142,438 円
サッカー部 個人 1名、トライアスロン部 個人 1名 (国内大会、国際大会の2件)
- ・海外派遣奨励金 7名 800,000 円
(芸術地域デザイン学部4名、経済学部 1名、理工学研究科博士前期 1名、農学研究科修士課程 1名)
- ・国際交流奨励金 21名 1,050,000 円
(医学部医学科 1名、農学部 1名、理工学研究科博士前期課程 8名・博士後期課程 10名、農学研究科修士課程 1名)

<校友間交流支援事業の実施状況>

これまでの校友間交流支援事業（支援総額7,872,217 円）の内訳は、ホームカミングデーへの支援（支援額3,615,753 円）と海外版ホームカミングデーへの支援（支援額4,256,646 円）です。

なお、この海外版ホームカミングデーの実施を契機に、中国、ベトナム、インドネシア、マレーシア、バングラデシュ、タイに本学の海外同窓会が設立されました。

令和6年度においては、第13回ホームカミングデーは10月26日(土)午後、海外版ホームカミングデーは12月15日にベトナムのハノイにおいて開催予定です。

令和5年度校友間交流支援事業報告

○第12回佐賀大学ホームカミングデー（令和5年10月28日開催）

10月28日（土）、「第12回佐賀大学ホームカミングデー」を開催しました。

今回は、開催中であった第26回佐賀大学祭との同時開催により、卒業生、名誉教授、佐賀大学同窓会、各学部同窓会の会長・副会長及び本学の役員等64名が参加しました。

兒玉浩明学長から歓迎の挨拶、大学の近況報告があり、引き続き、水田和彦佐賀大学同窓会会長の挨拶がありました。

講演は、「佐賀大学産学連携の取組み～産学連携と日本一・世界一の取組み～」と題して、佐賀大学リージョナル・イノベーションセンターの平山伸URAが講師を務めました。

続いて、佐賀大学校友会学生支援事業の支援を受けて、フィンランド留学した在校生による活動報告があり、その後、来場者と佐賀大学役員等との質疑応答による意見交換を行いました。

また、式の前には第26回佐賀大学祭をめぐるキャンパスツアー、式の後では参加者と軽食による懇談会も開催し、多くの卒業生が参加し懇談しました。



学長による近況報告



参加者集合写真

○海外版ホームカミングデーinタイ・バンコクを開催（令和5年12月17日開催）

元留学生等で結成する海外同窓会を6か国目となるタイに設置し、第14回目となる海外版ホームカミングデー（HCD）を、12月17日、バンコク市内で開催しました。本学では、海外協定校との連携強化及び帰国留学生等の本学関係者のネットワーク構築を目的として、2011年より帰国留学生をはじめとした佐賀大学関係者が集い、互いに交流を深める海外版ホームカミングデーを実施しています。

当日は、三島伸雄副学長（国際担当）をはじめ、在タイ日本国大使館や佐賀県等の来賓の方々、大学間交流協定校の教職員、そして元留学生25名を含む、総勢62名が参加しました。

兒玉学長のビデオレターでは、出席された関係者に感謝の意が伝えられるとともに、同会を通じて本学と元留学生等の関係者の絆が深まり、本学とタイとの新たな結びつきが実現することへの期待が伝えられました。そして、来賓の在タイ日本大使館の打田剛一等書記官、佐賀県の内田修平地域交流部国際課長、キングモンクット王ラカバン工科大学のピッチャ副学長より同窓会設置や同会開催への祝辞をいただき、三島副学長が「佐賀大学のいまとこれから」をテーマに本学の新施設や研究実績、留学生サポートなどを紹介しました。

タイの同窓会を代表して、同窓会長パウニー・イアムトラクル氏から相互連携の強化の意向が示され、全員でタイの伝統的な盆踊りであるロイクラントダンスを披露し、親睦を深めました。最後には三島副学長から閉会の辞が述べられ、再会を期して盛会のうちに閉会となりました。

今回のタイ同窓会設置やHCDの開催により、今後、タイの大学との留学生や研究者の交流促進が期待されます。



参加者集合写真

佐賀大学校友会では、賛助会員になっていただける企業様・団体様を募集しています！！

【問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1 (法人本部棟3階)

TEL 0952-28-8390

ホームページ <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>

会費

- 正会員 (個人) 20,000 円 (終身会員)
2,000 円 (年会費) ※2万円に達した場合は、終身会員になります。
- 賛助会員 (団体に限ります)
1口 50,000 円

払込方法

- 現金または郵便局振込にてお願いします。
 - ・現金の場合は、佐賀大学校友会事務局にて受領いたします。
 - ・郵便局の場合は **振替口座／01760-049425**
振替名義／佐賀大学校友会
(振込料金は、校友会で負担いたします。)